

## 滋賀県の道路についてのアンケート結果

県では、今後の道路整備や道路の維持管理等の方針を検討するにあたり、県民の皆さんの県内の道路に対する意識や意向などを把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

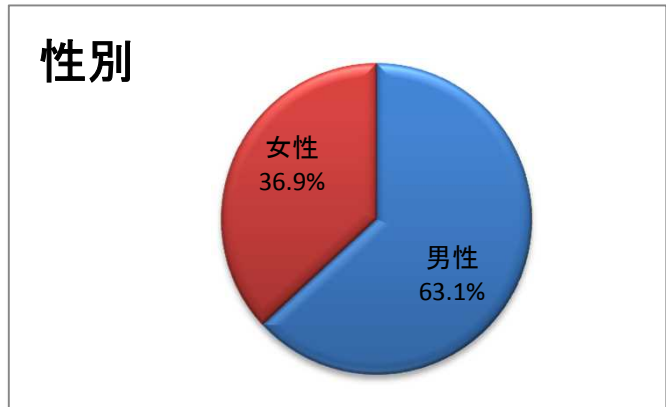
- ★調査時期：平成25年11月
- ★対象者：県政モニター399人
- ★回答数：320人（回収率80.2%）
- ★担当課：土木交通部道路課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

### 【属性】

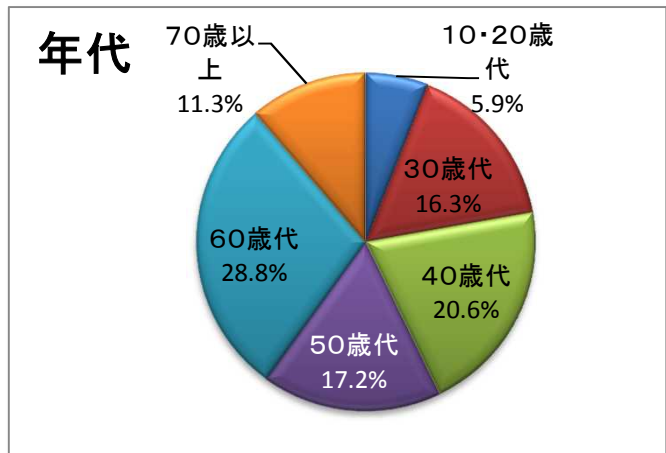
#### ◆性別

項目	人数	割合
男性	202人	63.1%
女性	118人	36.9%
合計	320人	100.0%



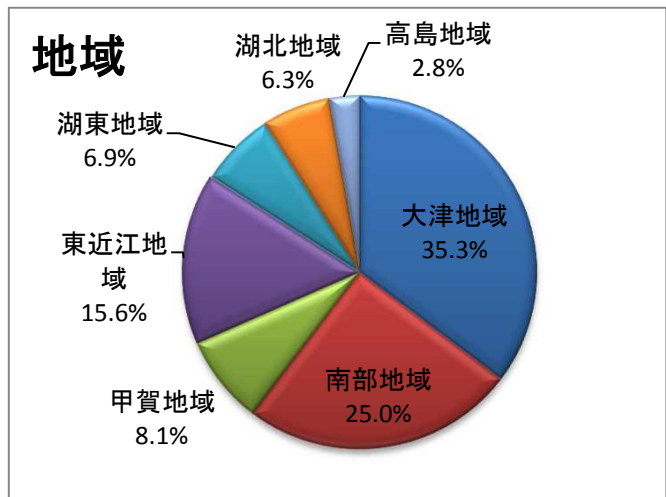
#### ◆年代

項目	人数	割合
10・20歳代	19人	5.9%
30歳代	52人	16.3%
40歳代	66人	20.6%
50歳代	55人	17.2%
60歳代	92人	28.8%
70歳以上	36人	11.3%
合計	320人	100.0%



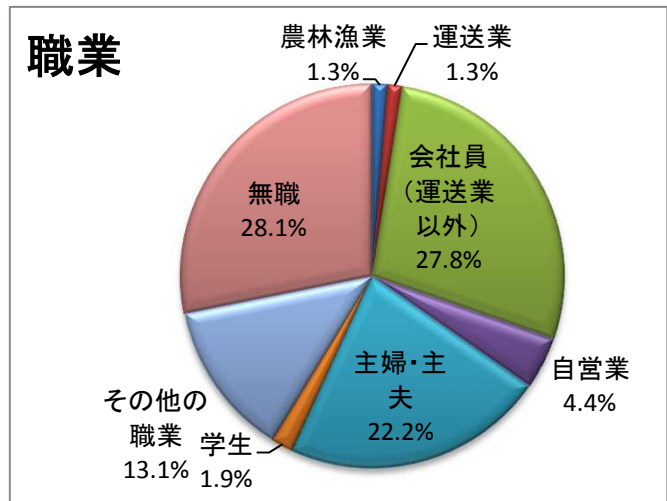
#### ◆地域

項目	人数	割合
大津地域	113人	35.3%
南部地域	80人	25.0%
甲賀地域	26人	8.1%
東近江地域	50人	15.6%
湖東地域	22人	6.9%
湖北地域	20人	6.3%
高島地域	9人	2.8%
合計	320人	100.0%



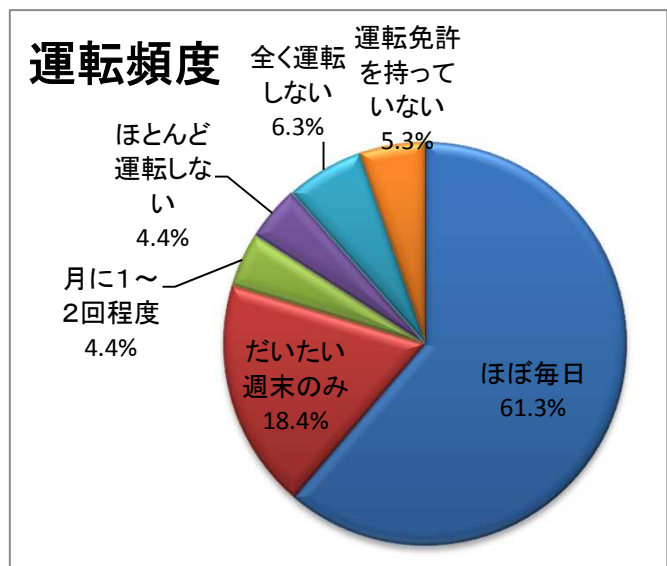
問1 あなたのご職業を教えてください。（回答チェックは1つだけ）

項目	人数	割合
農林漁業	4人	1.3%
運送業	4人	1.3%
会社員（運送業以外）	89人	27.8%
自営業	14人	4.4%
主婦・主夫	71人	22.2%
学生	6人	1.9%
その他の職業	42人	13.1%
無職	90人	28.1%
合計	320人	100.0%



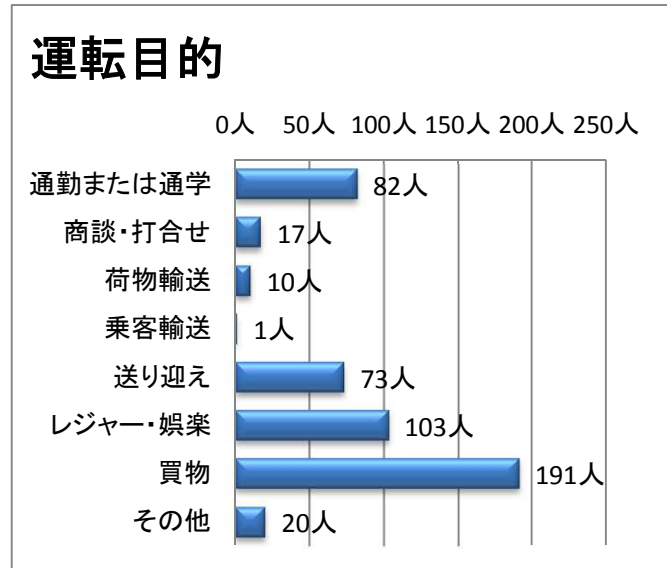
問2 あなたが自動車を運転する頻度をお答えください。（回答チェックは1つだけ）

項目	人数	割合
ほぼ毎日	196人	61.3%
だいたい週末のみ	59人	18.4%
月に1～2回程度	14人	4.4%
ほとんど運転しない	14人	4.4%
全く運転しない	20人	6.3%
運転免許を持っていない	17人	5.3%
合計	320人	100.0%



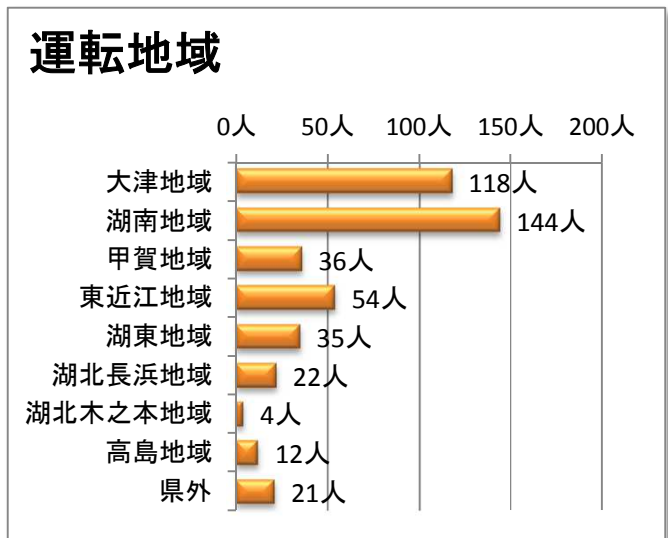
問3 あなたが自動車を運転する時の主な移動目的をお答えください。（回答チェックは2つまで）  
（問2で「ほぼ毎日」「だいたい週末のみ」「月に1～2回程度」「ほとんど運転しない」を選択した方が対象 n=283）

項目	人数	割合
通勤または通学	82人	29.0%
商談・打合せ	17人	6.0%
荷物輸送	10人	3.5%
乗客輸送	1人	0.4%
送り迎え	73人	25.8%
レジャー・娯楽	103人	36.4%
買物	191人	67.5%
その他	20人	7.1%



問4 あなたが自動車を運転して走行する主な地域を教えてください。（回答チェックは2つまで）  
 （問2で「ほぼ毎日」「だいたい週末のみ」「月に1～2回程度」「ほとんど運転しない」を選択した方が対象 n=283）

項目	人数	割合
大津地域	118人	41.7%
湖南地域	144人	50.9%
甲賀地域	36人	12.7%
東近江地域	54人	19.1%
湖東地域	35人	12.4%
湖北長浜地域	22人	7.8%
湖北木之本地域	4人	1.4%
高島地域	12人	4.2%
県外	21人	7.4%



問5 今後（将来的に）あなたが利用する交通手段（移動手段）は、どのように変化すると思いますか。あなたのお考えを5段階で評価してください。

A) 公共交通機関（電車・バス）で移動する

項目	人数	割合
増える	53人	16.6%
少し増える	54人	16.9%
変わらない	193人	60.3%
少し減る	11人	3.4%
減る	9人	2.8%
合計	320人	100.0%

B) 自動車（自家用・タクシー・レンタカー含む）で移動する

項目	人数	割合
増える	28人	8.8%
少し増える	49人	15.3%
変わらない	179人	55.9%
少し減る	46人	14.4%
減る	18人	5.6%
合計	320人	100.0%

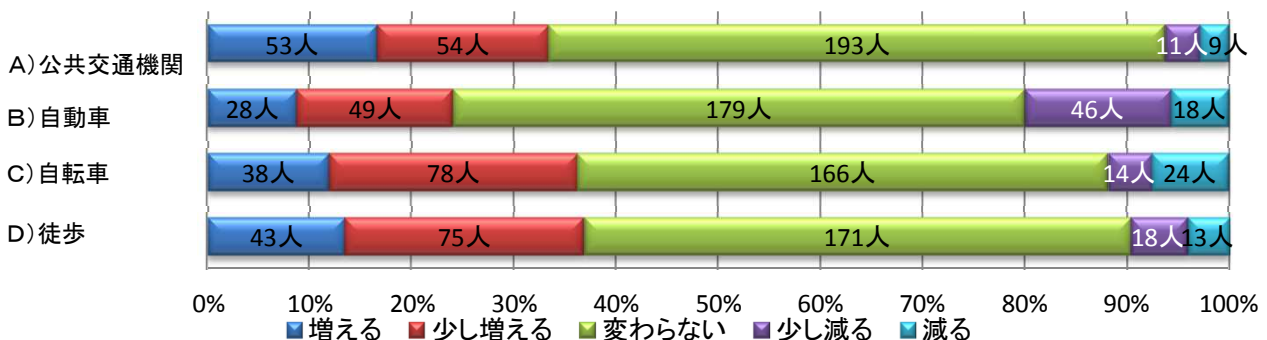
C) 自転車で移動する

項目	人数	割合
増える	38人	11.9%
少し増える	78人	24.4%
変わらない	166人	51.9%
少し減る	14人	4.4%
減る	24人	7.5%
合計	320人	100.0%

D) 徒歩で移動する

項目	人数	割合
増える	43人	13.4%
少し増える	75人	23.4%
変わらない	171人	53.4%
少し減る	18人	5.6%
減る	13人	4.1%
合計	320人	100.0%

### 将来の交通手段の転換意向

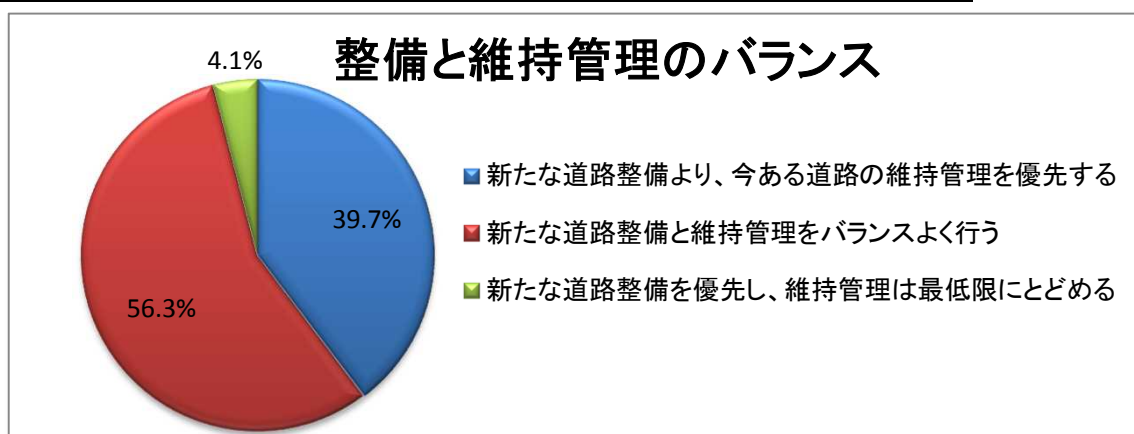


ここからは、県内の道路整備と維持管理のあり方について伺います。

県の道路関係予算はピーク時の半分程度まで落ち込んでいます。一方で、橋・トンネルなどの重要な道路構造物の老朽化対策を重点的に進めていく必要があります。このため、今後は限られた予算の中で、新たな道路整備（バイパス整備・道路拡幅等）と日常の維持管理（舗装補修・除草作業等）を行っていくこととなります。

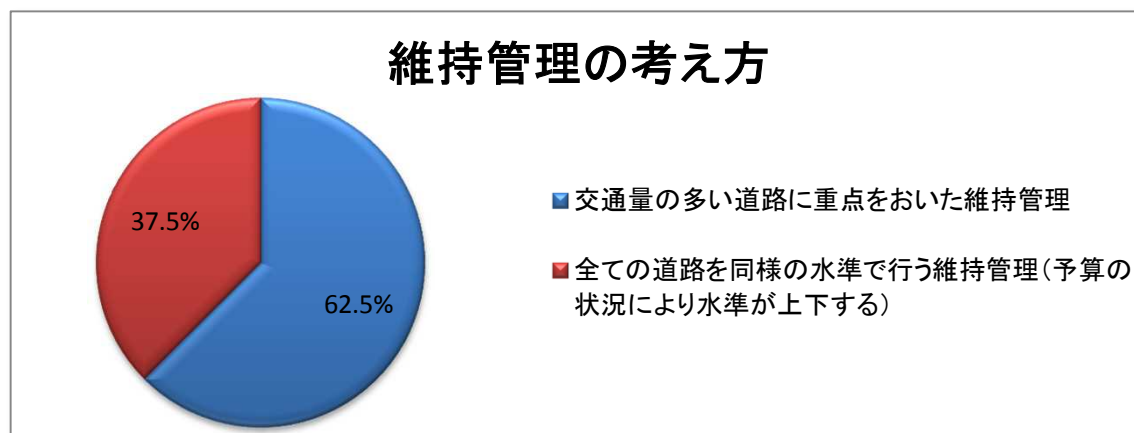
問6 そこで、新たな道路整備（バイパス整備・道路拡幅等）と日常の維持管理（舗装補修・除草作業等）の関係について、あなたのお考えをお答えください。（回答チェックは1つだけ）

項目	人数	割合
新たな道路整備より、今ある道路の維持管理を優先する	127人	39.7%
新たな道路整備と維持管理をバランスよく行う	180人	56.3%
新たな道路整備を優先し、維持管理は最低限にとどめる	13人	4.1%
合計	320人	100.0%



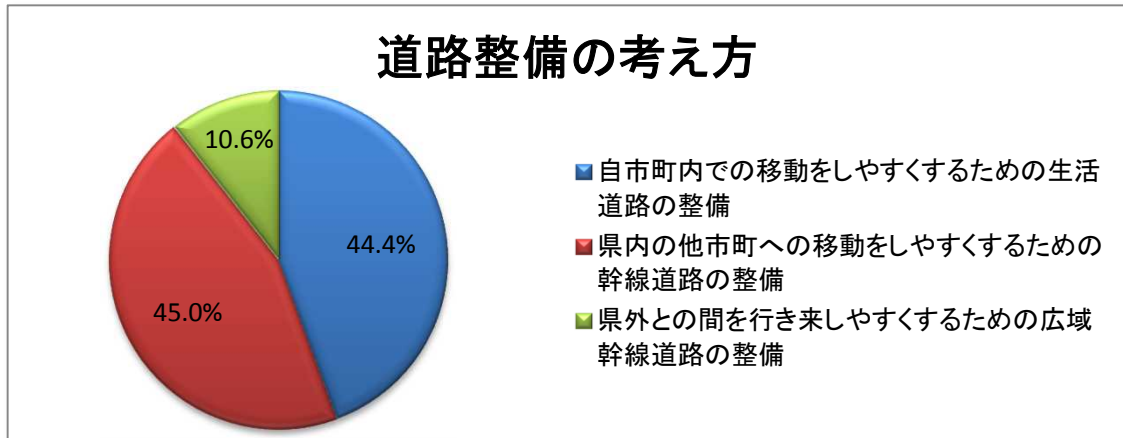
問7 限られた予算の中で、どのように日常の維持管理（舗装補修、除草等）行うべきか、あなたのお考えをお答えください。（回答チェックは1つだけ）

項目	人数	割合
交通量の多い道路に重点をおいた維持管理	200人	62.5%
全ての道路を同様の水準で行う維持管理（予算の状況により水準が上下する）	120人	37.5%
合計	320人	100.0%



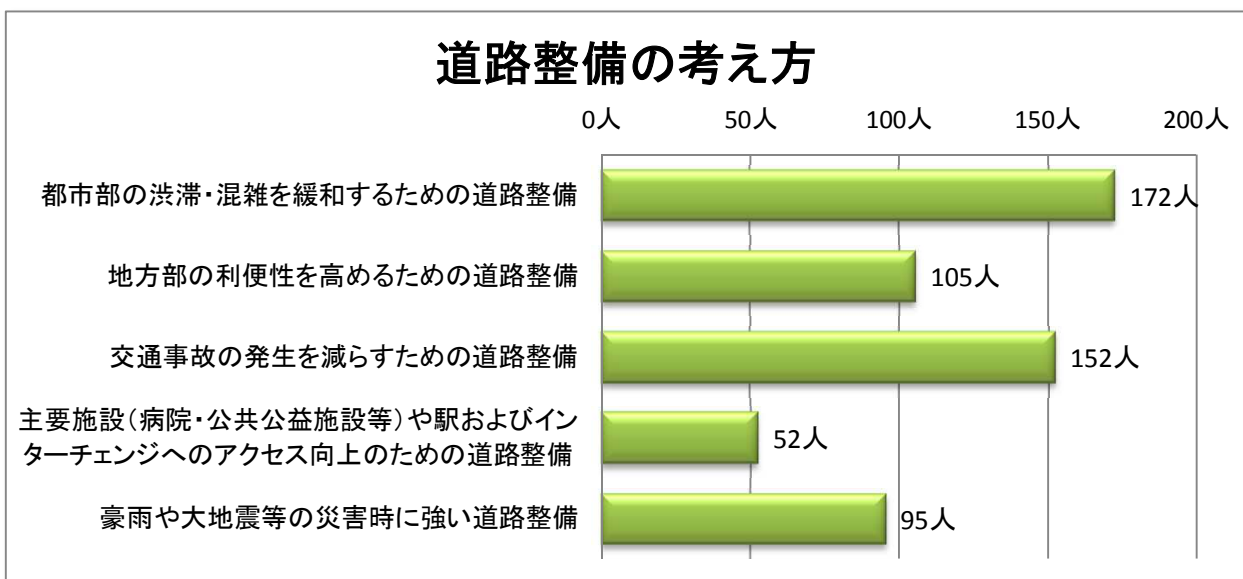
問8 県内の道路整備において、自動車での移動に関して特に重要と考えておられるものをお答えください。（回答チェックは1つだけ）

項目	人数	割合
自市町内での移動をしやすいするための生活道路の整備	142人	44.4%
県内の他市町への移動をしやすいするための幹線道路の整備	144人	45.0%
県外との間を行き来しやすいための広域幹線道路の整備	34人	10.6%
合計	320人	100.0%



問9 県内の道路整備において、道路の役割に関して特に重要とを考えておられるものをお答えください。（回答チェックは2つまで）

項目	人数	割合
都市部の渋滞・混雑を緩和するための道路整備	172人	53.8%
地方部の利便性を高めるための道路整備	105人	32.8%
交通事故の発生を減らすための道路整備	152人	47.5%
主要施設（病院・公共公益施設等）や駅およびインターチェンジへのアクセス向上のための道路整備	52人	16.3%
豪雨や大地震等の災害時に強い道路整備	95人	29.7%



問10 その他、滋賀県内の道路に対するご意見・ご要望など、お気づきの点がございましたら、ご自由に記入して下さい。（主な意見を抜粋）

- ・人や車がほとんど通らないようなところに道路を新設するより住民や観光客等が真に必要とするところを優先して新設したり改良したりしてほしい。県内は鉄道・バス等の交通機関が非常に不便であるので。
- ・事故のない安全なことが一番です。子供の通学路に歩道がない。これがやはり一番なのではないでしょうか。  
全部は難しいと思いますので、渋滞の道路を優先に行うことで抜け道をしなくなると、多少なりとも交通量が減り安全な通学路にも繋がると思います。
- ・利用者（車）の多い都市部の道路整備と新設に対して、優先的に予算を配分する必要があると思います。  
海外に行きますと、幹線道路は基本的にフリーウェイで、都市部の道路はきれいに、かつ、渋滞を回避すべく整備されています。逆に、ほとんど利用がない道路は、無舗装の状態のままで最低限の整備がなされ、選択と集中を徹底し、予算配分の優先順位を明確に定めて道路整備もしくは新設をされているように思います。
- ・少子高齢化に伴い、将来的には車を運転する方が減り公共の交通機関を利用している方が大半ではないでしょうか？と、なれば拡張工事や、新規の道路を作るより福祉政策、子育て支援、医療費などに予算をまわして頂いた方が良いのかな？  
将来の子供や孫に負担させない健全な滋賀県であってほしいと思います。
- ・子供が安全に通学、移動できるよう交通事故の減少とそのための道路管理をお願いします。
- ・彦根に引っ越してきて4年が経つが、滋賀・特に彦根市内の道は全く整備されていない、市民の利便性を全く考えていないと感じる。根本的に道が非常に少なく狭いので至る所で慢性的に渋滞が起こり、歩道が無い又は狭過ぎるので大変危険。
- ・狭くて渋滞しやすい、右左折レーンがないために事故発生が懸念される、凹凸が目立つなどの特徴がある道路を日頃から通っていますが、近ごろ工事で広くなったり凹凸が均されたりして、使いやすくなっています。とてもありがたいことです。
- ・市内の道路で道幅が狭い部分の改善が必要であり、今後の都市計画に於いては電線・電話線等の地下埋設が望まれる。
- ・交通量が多いところはかなり整備されている感じがしますが、生活するために必要な道路に関しては人口比率によって危険な箇所が放置されていたり、整備が遅れているような気がします。  
滋賀は、車がないと移動手段がない市町村が多いので、その辺を意識して整備していただけたらと思います。
- ・現在の道路は車の視点でのみ整備されています。今後高齢化社会に向かうに際し、元気な高齢者が安全に歩ける道路（歩道）の整備が必要と思います。
- ・滋賀県の道路は比較的きれいに整備されている印象があります。  
そのため、交通量または重要度の高い道路の整備を進めるとともに、関西有数の工業県でもあるので、他府県とのアクセス向上を進めていくと良いのではないかと思います。
- ・冬季の除雪と凍結対策をしっかりと行ってほしい。夏場は多少整備が悪くてもどうにかなるが、冬場はもろに走行や事故に直結してくるので、雪の影響や凍結等で危険な箇所は優先的に整備してほしい。
- ・湖西地方の道路状況は、少しずつ改善がみられるが、幹線道路が1本しかなく、特に災害時に孤立することは避けられない状況にあります。市民は特にそのような危機意識を持っており、行政も改善策について検討されているようですが、取り敢えず国道161号線の整備を早く完成されることを希望します。
- ・バスが時刻通り運行できる道路の整備、駅周辺の整備、新交通システムの導入が必要と思います。

- ・国道1号線と8号線の交通量の多い区間は2車線にさせていただきたいと感じています。当然いまでも同様の意見は数多く出ているかとは思いますが、滋賀県を縦断する主要の道路ですから、渋滞が少なく、利便性を高めることは必要だと思います。
- ・滋賀県は琵琶湖や歴史史跡などの観光県・観光市でもあるので道路整備は道路そのものも重要だと思いますが道路周辺（看板・雑草・ゴミなど）の美化も極めて重要だと思います。美化活動を継続するための体制づくりを県・市あげて取り組んでほしいと思います。
- ・自動車の利便性も大切ですが、自転車や徒歩で移動する事にも着目して道路整備をお願いしたいです。児童や園児が徒歩で利用する歩道などは、学校や公共施設の周囲だけでも安全を確保していただきたいです。
- ・県内では、災害による道路遮断により生活への影響が多い地域がある。まず、それを対応する事が重要である。  
また、LRTや路面電車、バスなどの公共交通機関を充実することにより、自動車での移動を減らす政策も重要。
- ・幹線道路の接合場所などで、慢性的な渋滞が多いように思う。そのため、旧道に入る車も多く、結果として子供が危険な環境におかれる。信号のタイミングや交差点の整備などで、緩和できるところも多いと思うので、検討してほしい。
- ・道路維持管理（除草やごみ拾いなど）は現在も行われている地域や団体への委託をもっと進めるべきだと思います。
- ・通行量が殆どない立派な道路がある反面、慢性的に渋滞に悩まされている道路がある。少ない予算の配分については利用者の利便性を高めることに重点を置いて配分すべきである。
- ・都市部のみの充実ではだめだと思う。
- ・環境保護、省エネの観点から自転車利用を推進すべきである。自転車走行は専用道路も少ないリスクが高い。専用道の充実化が望まれる。
- ・国道と比べて県道・市道の整備の遅れを感じている。せめて現状維持をお願いしたい。また、道路の新設よりも老朽化した橋梁などの安全管理を第一にお願いしたい。
- ・既存道路の維持管理をしっかり行うことを優先すべきだと思います。  
全ての要望に応えられる予算はないはず。優先順位づけが大切だと思います。道路整備だけでなく、どの事業、民間企業でも優先順位づけが大切です。



ここからは、琵琶湖大橋（守山市今浜町と大津市堅田を結ぶ有料の道路）について伺います。

琵琶湖大橋は、滋賀県道路公社が建設・管理しており、現在普通車で200円の通行料金を公社に支払っていただいています。この料金収入により、建設にかかった費用の返済と維持管理および修繕を行っています。

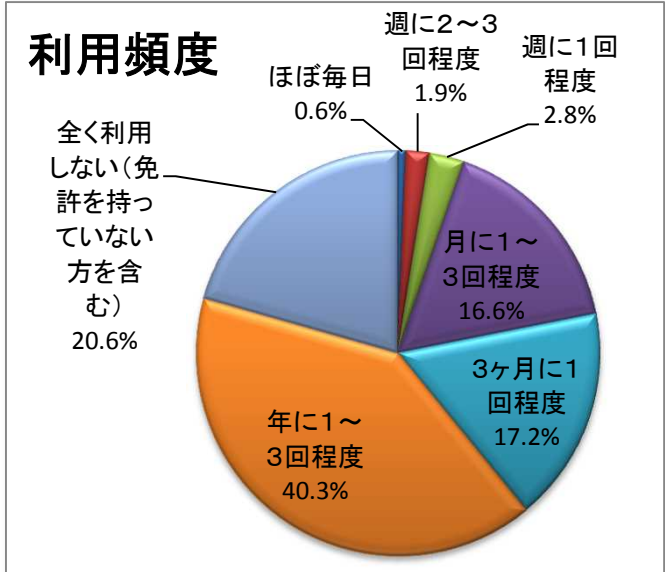
今後建設費の返済が終わると、琵琶湖大橋有料道路を公社から県が引き継ぐこととなります。このことにより、通行料金は原則無料となり、維持管理および修繕は県が税金で行うこととなります。

しかし、琵琶湖大橋は長大な橋であることから、県が管理している他の一般的な道路や橋に比べ維持管理などにかかる費用が高く県財政への負担が大きいという課題があります。

そこで、今後の琵琶湖大橋の維持管理のあり方などについて、あなたのお考えをお伺いします。

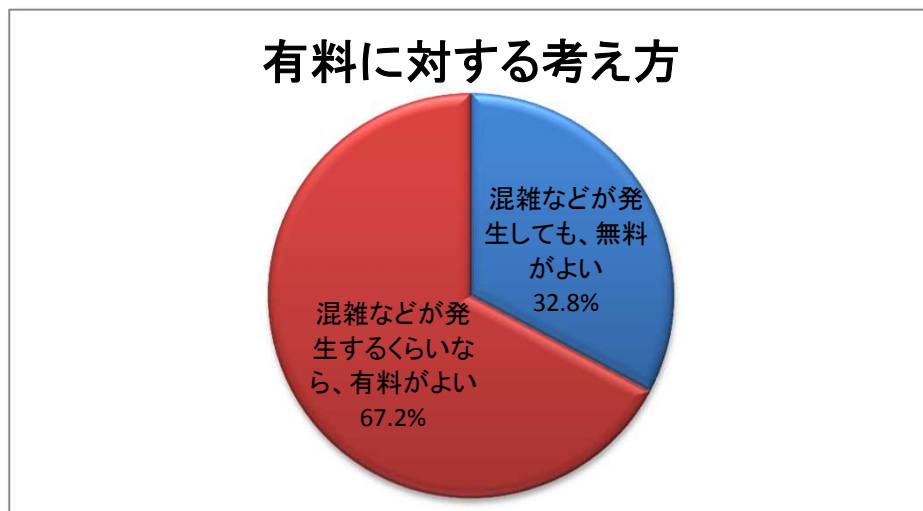
問1 1 現在あなたが自動車を運転して琵琶湖大橋を走行する頻度を教えてください。  
（回答チェックは1つだけ）

項目	人数	割合
ほぼ毎日	2人	0.6%
週に2～3回程度	6人	1.9%
週に1回程度	9人	2.8%
月に1～3回程度	53人	16.6%
3ヶ月に1回程度	55人	17.2%
年に1～3回程度	129人	40.3%
全く利用しない (免許を持っていない)	66人	20.6%
合計	320人	100.0%



問1 2 通行料金が無料になると、行き来がしやすくなり新たな交流などが生まれる反面、交通量が増加し混雑や事故などが発生することが考えられます。そこで、次のうちあなたのお考えに近いものをお答えください。（回答チェックは1つだけ）

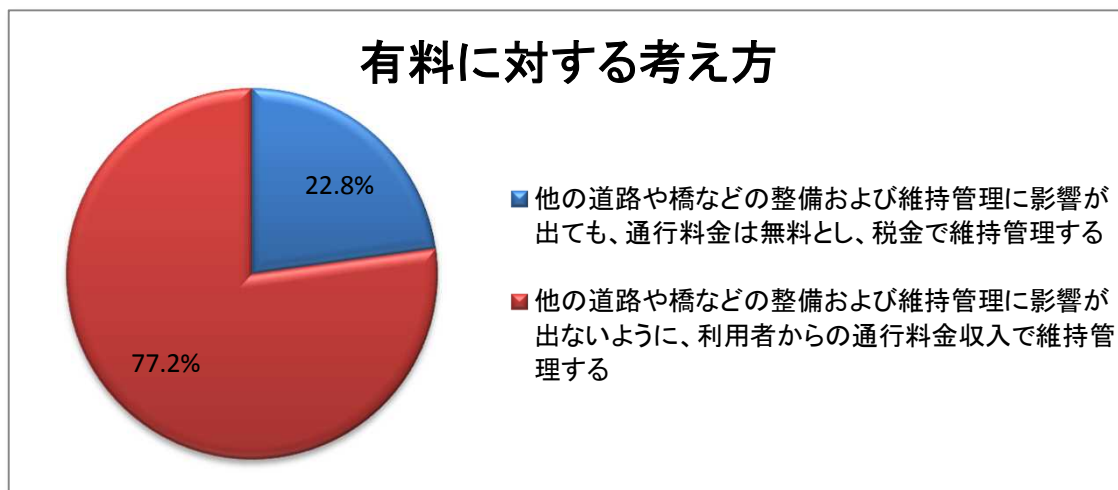
項目	人数	割合
混雑などが発生しても、無料がよい	105人	32.8%
混雑などが発生するくらいなら、有料がよい	215人	67.2%
合計	320人	100.0%





問13 通行料金が無料になると、琵琶湖大橋の維持管理に必要な費用を税金で賄うことになるため、他の道路や橋などの整備および維持管理に影響がでることが考えられます。そこで、琵琶湖大橋の維持管理費の財源について、あなたのお考えに近いものをお答えください。  
(回答チェックは1つだけ)

項目	人数	割合
他の道路や橋などの整備および維持管理に影響がでて、通行料金は無料とし、税金で維持管理する	73人	22.8%
他の道路や橋などの整備および維持管理に影響が出ないように、利用者からの通行料金収入で維持管理する	247人	77.2%
合計	320人	100.0%



問14 琵琶湖大橋を普通車で利用する際に支払っても良いと考える料金について、あなたのお考えに近いものをお答え下さい。(回答チェックは1つだけ)  
(問12で「混雑などが発生するくらいなら、有料がよい」または問13で「他の道路や橋などの整備および維持管理に影響が出ないように、利用者からの通行料金収入で維持管理する」を選択した方が対象 n=253)

項目	人数	割合
200円	105人	41.5%
150円	17人	6.7%
100円	93人	36.8%
その他	27人	10.7%
分からない	11人	4.3%
合計	253人	100.0%

